

競争的研究費の直接経費による研究代表者の人件費の支出に関する取扱要項

〔令和3年4月7日〕
学 長 裁 定
改正 令和6年3月21日
改正 令和7年3月12日

「競争的研究費の直接経費から研究代表者（P I）の人件費の支出について」（令和2年10月9日競争的研究費に関する関係府省連絡申し合わせ）により、研究活動の-effort に応じ、研究代表者（以下「P I（Principal Investigator）」という。）本人の希望により、直接経費から人件費を支出することが可能となった。これを受け、本学において、直接経費からP Iの人件費を支出しようとする場合は、以下により取り扱うものとする。

1. 対象となる事業

競争的研究費のうち、各資金配分機関が指定する事業とする。

2. 対象者

P Iとして研究計画の遂行に関して全ての責任を持つ者とする。ただし、資金配分機関の承認が得られた場合は、研究分担者等も同様に人件費の支出を可能とする。

3. 支出額

支出可能額（直接経費に計上可能な額）は、P Iの年間給与額に、年間を通じて研究活動に従事する-effort（研究者の勤務時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合）を乗じた額を原則とする。ただし、資金配分機関において上限額が決められている場合は、それに従うものとする。

4. 確保された財源の活用方針

本学では、以下のとおり活用方針を定め、直接経費によるP I人件費の支出に伴って確保した財源により、P I自身の処遇改善・研究環境の整備、若手研究者の育成・活躍支援策の充実に資する取組を行う。なお、本方針に掲げる目標の達成に向け、人事給与マネジメントの改善等と一体的に取り組むこととする。

（1）目標

P Iが安定して研究に専念できる環境等の整備及び若手研究者の育成・活躍支援策の充実による本学の研究力強化

（2）上記目標を達成するための具体的な経費の使途・活用策

1) 直接経費から人件費を支出したP I（以下「当該P I」という。）への支援

① 当該PIの給与水準の向上（給与の加算）、② 当該PIの研究環境の整備

2) 若手研究者の育成・活躍支援策の充実

① 若手研究者の新規雇用、② 若手研究者のスタートアップ支援、③ 博士課程学生等

の処遇改善、④ 若手研究者にとって共用設備・機器を利用しやすい環境等の整備

5. 確保された財源の取り扱い

直接経費によるP I人件費の支出に伴って確保した財源は、「P I環境等充実費」として管理する。

6. P I環境等充実費に係る手続き

① 申請方法

P I環境等充実費を活用することを希望するP Iは、直接経費にP I人件費を計上して申請等を行った競争的研究費の採択決定通知受領後速やかに、当該年度の使用計画を別添様式「P I環境等充実費 使用計画書 兼 実績報告書」により研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課（鹿田地区の部局にあっては病院研究推進課（以下同じ。))に提出すること。

② 使用計画の確認

研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課は、上記①により提出された使用計画が、「3. 確保された財源の活用方針」に合致するかを確認後、当該様式を所属部局の長へ送付すること。所属部局の長は、当該様式に記載のエフォートの妥当性等を確認すること。

③ P I環境等充実費の配分・管理

研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課は、上記②により確認された使用計画に従いP I環境等充実費を確保し、P I所属部局に配分手続き等を行うこと。所属部局の長は、配分されたP I環境等充実費を適切に管理すること。

④ 実績報告

P Iは、事業終了後速やかに、当該年度のP I環境等充実費の執行実績を別添様式「P I環境等充実費 使用計画書 兼 実績報告書」により、研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課に提出すること。

7. 留意事項

- (1) 直接経費の使途は研究費を獲得した研究者が研究の着実な遂行のために判断するものであり、競争的研究費の直接経費からP Iの人件費を支出することを本学が強制するものではない。
- (2) 当該P Iが所属する部局長は、当該P Iのエフォートを適切に管理するとともに、当該P Iが研究活動を確実に実施できるよう、研究時間の確保に努めることとする。

附 則

この要項は、令和3年4月7日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

(所属部局の長)

殿

P I 環境等充実費 使用計画書 兼 実績報告書
(令和 年度)

1. 所属部局・職名・氏名		
2. 事業名等	○○事業 プロジェクトコード ()	
3. 当該事業のエフォート率		
4. 当該事業に係る PI 人件費の支出上限額(円)		
5. 研究環境改善費使用計画・活用実績		
使 途	計画額 (円)	実績額 (円)
合 計	0	0
6. 研究成果等 ※2		

※1 本様式は、採択決定後、速やかに、当該年度の使用計画(1～5 までの項目)を入力の上、研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課(鹿田地区の部局にあつては病院研究推進課(以下同じ。))に提出してください。

※2 当該年度の事業終了後、速やかに「6.研究成果等」を追記し、研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課に提出してください。具体的な研究成果に繋がった場合は、例えば、公表論文(タイトル、著者名、掲載誌名、掲載ページ、巻号、発表年)、学会発表(発表タイトル、発表者名等、学会名、開催地、発表年月日、口頭発表またはポスター発表)などを含め記入ください。参考資料がある場合は、添付してください。

※3 エフォート率の変更等により使用計画等に変更があった場合は、改めて本様式を作成の上、提出してください。

記入例

別添様式

(所属部局の長)

殿

PI 環境等充実費 使用計画書 兼 実績報告書 (令和 年度)

1. 所属部局・職名・氏名	〇〇研究科・教授・〇〇〇〇	
2. 事業名等	科学技術振興機構（J S T）創発的研究支援事業 プロジェクトコード（XXXXXXXXXX ）	
3. 当該事業のエフォート率	20%	
4. 当該事業に係る PI 人件費の支出上限額(円)	700,000 円	
5. 研究環境改善費使用計画・活用実績		
使 途	計画額（円）	実績額（円）
PI 等の給与水準の向上	500,000 円	
PI 等環境整備	200,000 円	
合 計	700,000 円	
6. 研究成果等 ※2		

研究代表者（PI）の給与加算に使用する場合は、必ず「PI の給与水準の向上」を選択する

上記 4 金額内であること

※1 本様式は、採択決定後、速やかに、当該年度の使用計画(1～5 までの項目)を入力の上、研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課(鹿田地区の部局にあっては病院研究推進課(以下同じ。))に提出してください。

※2 当該年度の事業終了後、速やかに「6.研究成果等」を追記し、研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課に提出してください。具体的な研究成果に繋がった場合は、例えば、公表論文(タイトル、著者名、掲載誌名、掲載ページ、巻号、発表年)、学会発表(発表タイトル、発表者名等、学会名、開催地、発表年月日、口頭発表またはポスター発表)などを含め記入ください。参考資料がある場合は、添付してください。

※3 エフォート率の変更等により使用計画等に変更があった場合は、改めて本様式を作成の上、提出してください。